

## 故郷

## への便り



319



## 楠本 昌彦 (51)

白浜町出身

(国立がん研究センター中央病院放射線診断科医長)

「風邪は万病のもと」という言い伝えが古くからあり、風邪をひいた時に「たかがこれくらい」と侮っていると重病になるという意味になるでしょう。実際、

「風邪をこじらせて肺炎などのより重い病気になることはありますが、重い持病の味は、さまざまな病気の初期の症状が風邪の症状に似ている場合があり、単なる風邪だと思いつまみないことが大切だ」というメッセージだと思っています。例えば肺がんや肺結核、白血病などの重い病気の初期に風邪に似た症状を示すことが

あるからです。前回のこの欄で「肺がんになることから遠ざけるにはなんと言っても禁煙である」と書いたところ、多くの反響がありました。では、たばこを吸っている、肺がんになりやすいだけでしょうか。答えはノーです。たばこを吸っていると、肺がん以外のがんにもなりやすいことが分かっています。のどの奥にできる喉頭(こうとう)がん、食道がん、すい臓がん、膀胱(ぼうこう)がんなどが

こす重い病気にもなりやすくなります。肺がんにはならなくても、慢性閉塞肺疾患(COPD)といって、ちよつとしたことで息苦しくなる肺の病気にもなります。歯周病など歯にも悪い影響を与えます。しかも、このような病気になるのはおむね60歳を越えるころからです。皆さんの周りにこのような病気の方、あるいはこのような病気で亡くなった方はいませんか。もしいらしたら、その方が

では、自分がたばこを吸わないだけで十分でしょうか。答えはノーです。受動喫煙といって、他人の吸うたばこの煙でも健康に害があることが分かっています。従って、家族全員がたばこを吸わないことが重要です。職場でも同じです。飲食店や旅館、ホテルなどでも、たばこを吸えるところは極力避けるべきです。役所や図書館、公民館といった公共の場を、全面禁煙にすることに議論の余地はないでしょう。

そして、もしたばこを吸っていた人がやめることに成功したら、いままでたばこに使っていたお金の2割は地方自治体に寄付しましょう。残りの8割は、たばこを買っていたお店でたばこ以外の商品を購入するのはいかがでしょうか。

## たばこは万病のもと

たばこは万病のもと」とい

たばこは、さまざまな病気の初期の症状が風邪の症状に似ている場合があり、単なる風邪だと思いつまみないことが大切だ」というメッセージだと思っています。例えば肺がんや肺結核、白血病などの重い病気の初期に風邪に似た症状を示すことが

たばこは、がんができやすくなるだけではなく血管も痛めるため、心筋梗塞(こうそく)、脳梗塞とい

たばこを吸っていたかどうか思い返してください。もしたばこを吸っていたら、これら

たばこを吸っていたら、これら

たばこは、がんができやすくなるだけではなく血管も痛めるため、心筋梗塞(こうそく)、脳梗塞といった血管の不具合が引き起

たばこは、がんができやすくなるだけではなく血管も痛めるため、心筋梗塞(こうそく)、脳梗塞といった血管の不具合が引き起

たばこは、がんができやすくなるだけではなく血管も痛めるため、心筋梗塞(こうそく)、脳梗塞といった血管の不具合が引き起

たばこは、がんができやすくなるだけではなく血管も痛めるため、心筋梗塞(こうそく)、脳梗塞といった血管の不具合が引き起



協力 南紀人材  
交流センター